

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、|GS トータル・リターン 積極(年2回決算) / 安定(年2回決算) / 安定(毎月決算)| は、このたび、積極(年2回決算) / 安定(年2回決算) につきましては、第18期の決算、安定(毎月決算) につきましては、第98期～第103期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、積極(年2回決算) では信託財産の長期的な成長を、安定(年2回決算/毎月決算) では信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 積極(年2回決算)

第18期末(2024年2月19日)		第18期	
基準価額	12,953円	騰落率	7.5%
純資産総額	2,053百万円	分配金合計	0円

#### 安定(年2回決算)

第18期末(2024年2月19日)		第18期	
基準価額	10,038円	騰落率	3.6%
純資産総額	1,127百万円	分配金合計	0円

#### 安定(毎月決算)

第103期末(2024年2月19日)		第98期～第103期	
基準価額	7,618円	騰落率	3.6%
純資産総額	938百万円	分配金合計	120円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

#### <閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

# GS TOTAL RETURN

交付運用報告書

## GS トータル・リターン

積極(年2回決算)

安定(年2回決算)

安定(毎月決算)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

積極(年2回決算) /  
安定(年2回決算)

第18期(決算日2024年2月19日)

安定(毎月決算)

第98期(決算日2023年9月19日)

第99期(決算日2023年10月19日)

第100期(決算日2023年11月20日)

第101期(決算日2023年12月19日)

第102期(決算日2024年1月19日)

第103期(決算日2024年2月19日)

作成対象期間：2023年8月22日～2024年2月19日

## ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先：03-6437-6000(代表)

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

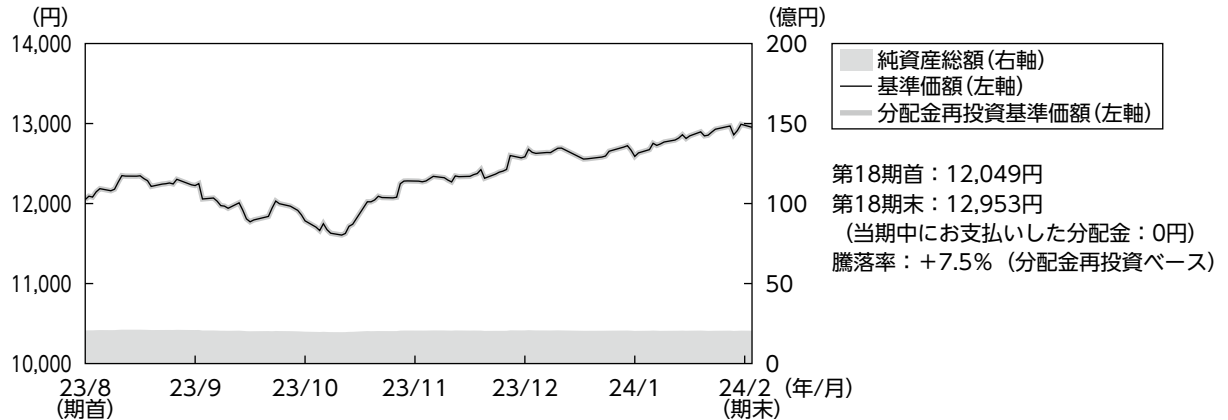
www.gsam.co.jp

## 運用経過

## ■ 基準価額等の推移について（2023年8月22日～2024年2月19日）

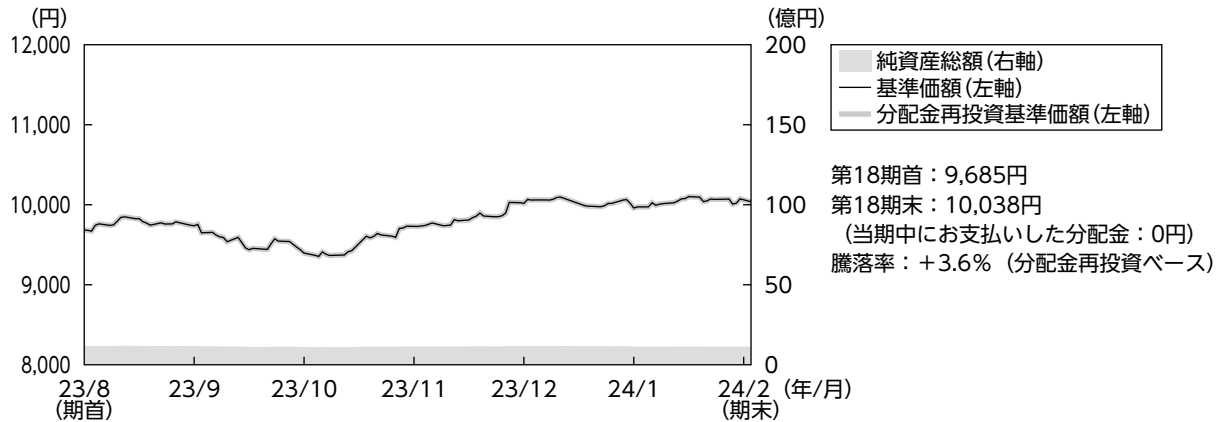
○GS トータル・リターン 積極（年2回決算）

（以下、「積極（年2回決算）」といいます。）

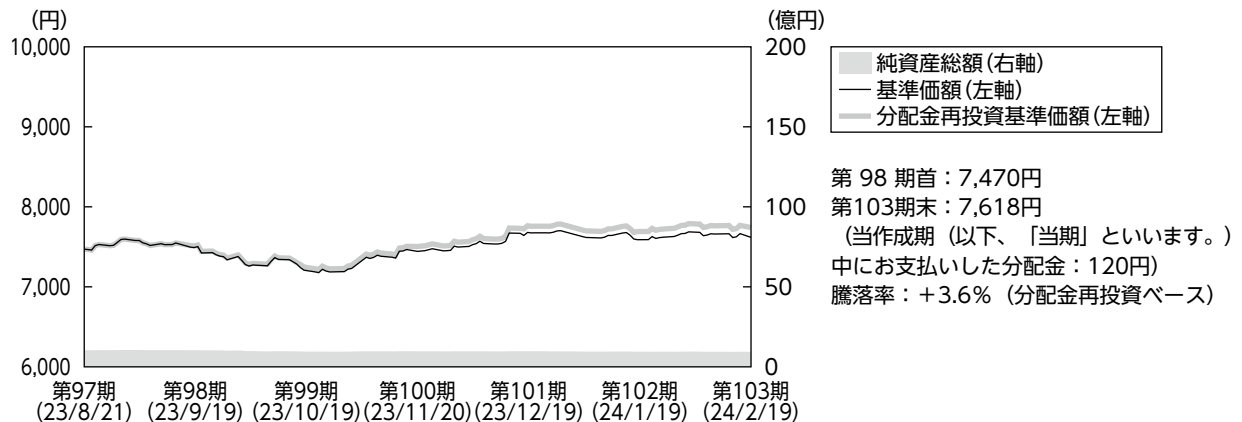


- (注1) 積極（年2回決算）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○GS トータル・リターン 安定 (年2回決算)  
(以下、「安定 (年2回決算)」といいます。)



○GS トータル・リターン 安定 (毎月決算)  
(以下、「安定 (毎月決算)」といいます。)



- (注1) 安定 (年2回決算) および安定 (毎月決算) の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

**■ 基準価額の主な変動要因**

- 積極（年2回決算）の基準価額は、期首の12,049円から904円上昇し、期末には12,953円となりました。
- 安定（年2回決算）の基準価額は、期首の9,685円から353円上昇し、期末には10,038円となりました。
- 安定（毎月決算）の基準価額は、期首の7,470円から148円上昇し、期末には7,618円となりました。（以下、3ファンドを総称して「本ファンド」といいます。）

## ○積極（年2回決算）

上昇要因

先進国株式の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。

下落要因

為替ヘッジ・コストなどが基準価額の下落要因となりました。

## ○安定（年2回決算）

上昇要因

先進国株式やグローバル社債の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。

下落要因

為替ヘッジ・コストなどが基準価額の下落要因となりました。

## ○安定（毎月決算）

上昇要因

先進国株式やグローバル社債の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。

下落要因

為替ヘッジ・コストや分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

○積極（年2回決算）

項目	当期		項目の概要
	2023年8月22日~2024年2月19日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	96円 ( 47)	0.779% (0.383)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	( 47)	(0.383)	
(受託会社)	( 2)	(0.014)	
売買委託手数料 (投資信託証券) (プライムブローカー)	0 ( 0) ( 0)	0.003 (0.001) (0.002)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 ( 0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 ( 2) ( 1) ( 5)	0.062 (0.016) (0.005) (0.041)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	104	0.844	

期中の平均基準価額は12,302円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

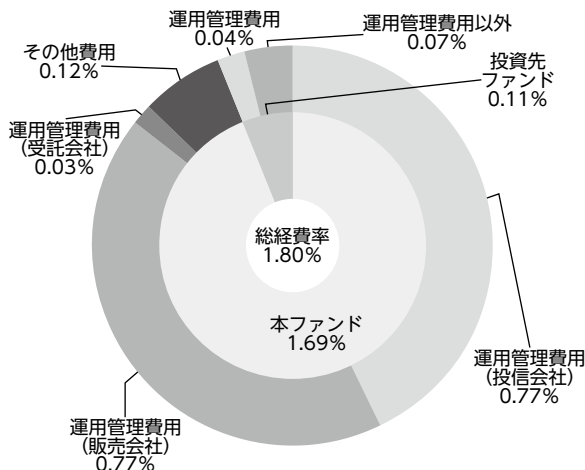
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率 (①+②+③)	1.80%
①本ファンドの費用の比率	1.69%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.04%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

○安定 (年2回決算)

項目	当期		項目の概要
	2023年8月22日~2024年2月19日 金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	76円 (37)	0.779% (0.383)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(37)	(0.383)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
売買委託手数料 (投資信託証券) (プライムブローカー)	1 (0) (0)	0.006 (0.001) (0.005)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	6 (1) (1) (4)	0.061 (0.012) (0.009) (0.041)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	83	0.846	

期中の平均基準価額は9,789円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

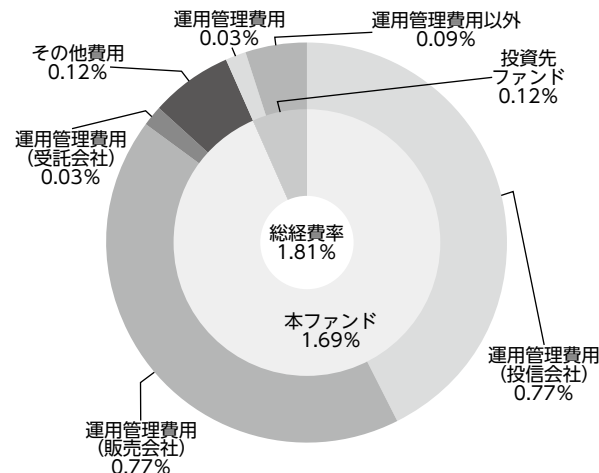
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.81%です。



総経費率 (①+②+③)	1.81%
①本ファンドの費用の比率	1.69%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

○安定（毎月決算）

項目	第98期～第103期 2023年8月22日～2024年2月19日		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	58円 (29)	0.779% (0.383)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(29)	(0.383)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
売買委託手数料 (投資信託証券) (プライムブローカー)	0 (0) (0)	0.006 (0.001) (0.005)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	5 (1) (1) (3)	0.061 (0.012) (0.010) (0.039)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	63	0.846	

期中の平均基準価額は7,499円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

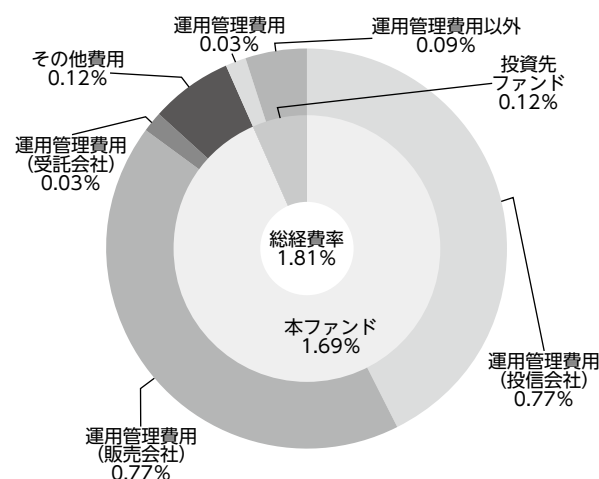
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



総経費率 (①+②+③)	1.81%
①本ファンドの費用の比率	1.69%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

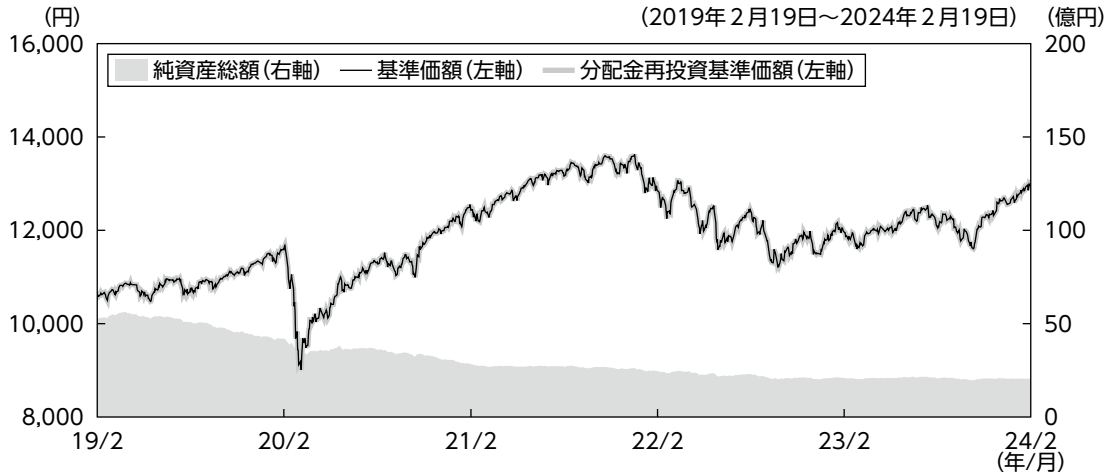
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ 最近5年間の基準価額等の推移について

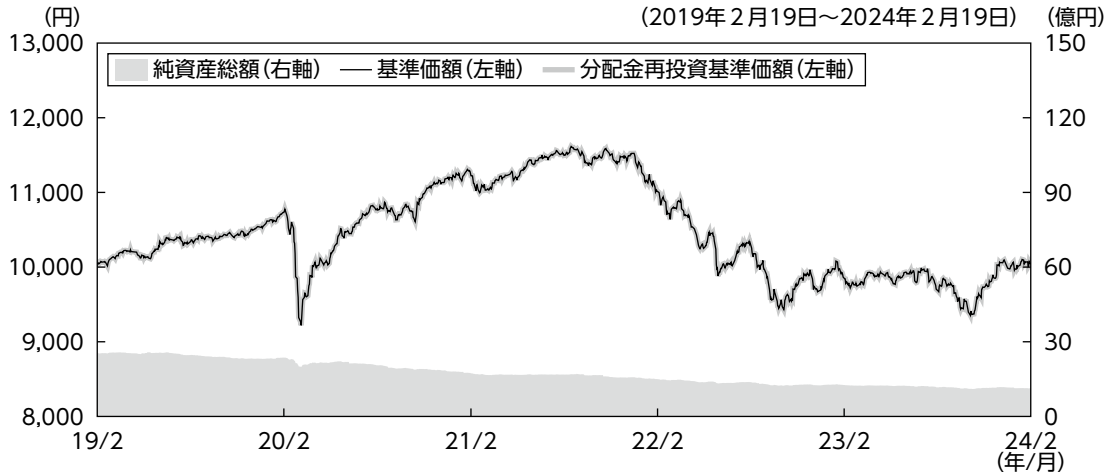
○積極（年2回決算）



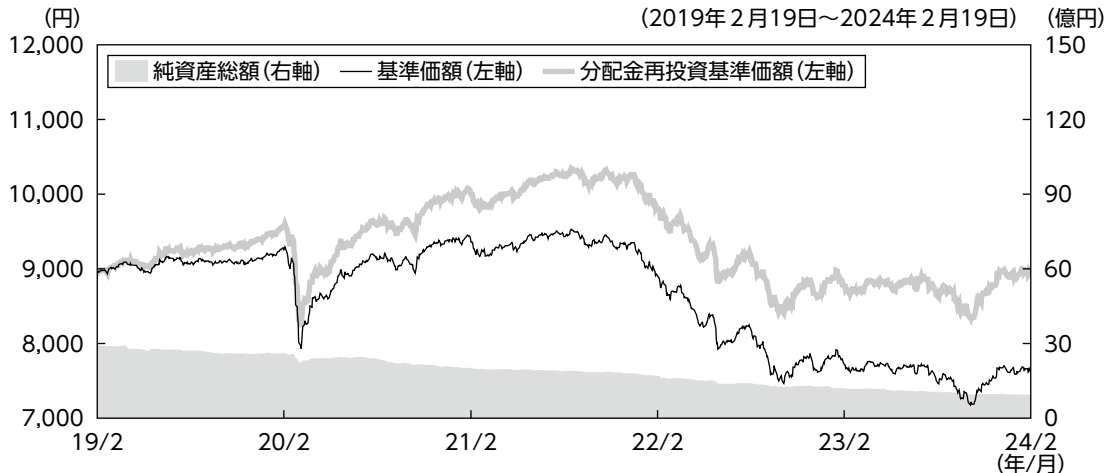
- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年2月19日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 積極（年2回決算）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。



## ○安定（年2回決算）



## ○安定（毎月決算）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年2月19日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 安定（年2回決算）および安定（毎月決算）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## 最近5年間の年間騰落率

### ○積極（年2回決算）

	2019/2/19 決算日	2020/2/19 決算日	2021/2/19 決算日	2022/2/21 決算日	2023/2/20 決算日	2024/2/19 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,564	11,585	12,431	12,827	11,951	12,953
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	9.7%	7.3%	3.2%	－6.8%	8.4%
純資産総額（百万円）	5,261	4,194	2,822	2,448	2,092	2,053

### ○安定（年2回決算）

	2019/2/19 決算日	2020/2/19 決算日	2021/2/19 決算日	2022/2/21 決算日	2023/2/20 決算日	2024/2/19 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,038	10,731	11,224	11,004	9,844	10,038
期間分配金合計（税引前）（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	－	6.9%	4.6%	－2.0%	－10.5%	2.0%
純資産総額（百万円）	2,549	2,363	1,731	1,493	1,260	1,127

### ○安定（毎月決算）

	2019/2/19 決算日	2020/2/19 決算日	2021/2/19 決算日	2022/2/21 決算日	2023/2/20 決算日	2024/2/19 決算日
基準価額（分配落）（円）	8,951	9,257	9,357	8,883	7,712	7,618
期間分配金合計（税引前）（円）	－	300	300	300	240	240
分配金再投資基準価額騰落率	－	6.9%	4.5%	－2.0%	－10.5%	2.0%
純資産総額（百万円）	2,911	2,604	2,003	1,693	1,192	938

（注1）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

（注3）積極（年2回決算）、安定（年2回決算）および安定（毎月決算）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 投資環境について

期初から9月末の金融市場は、先進国株式や先進国債券などが軟調となりました。株式市場は、米連邦議会において政府機関閉鎖の緊張が高まったことに加え、FOMC（米連邦公開市場委員会）の政策金利見通しの上方修正や米金利上昇などを背景に下落しました。債券市場では、一部の産油国による減産などを背景に原油先物価格が上昇し、インフレ圧力が懸念されたほか、FOMCで2024年の経済成長率が上方修正されたことやECB（欧州中央銀行）の複数の高官が追加利上げの可能性に言及したことを受けて主要先進国の国債利回りは上昇（価格は下落）しました。コモディティでは、原油などの価格が上昇した一方、金や銀などの価格は下落しました。外国為替市場では、米ドルは対円で上昇し、ユーロは対円で下落しました。

10月の金融市場は、先進国株式や先進国債券などが軟調となりました。株式市場は、米金利上昇への警戒感や中東情勢の緊迫化などが市場の重石となり、下落しました。債券市場では、一部の堅調な経済指標を受けて景気の先行きに対する楽観的な見方が強まったことや中東情勢を巡る地政学リスクの高まりなどが変動要因となったなか、主要先進国の国債利回りは国によってまちまちの展開となりました。コモディティでは、金などの価格が上昇した一方、原油などの価格は下落しました。外国為替市場では、米ドルは対円で小幅に下落し、ユーロは対円で上昇しました。

11月の金融市場は、先進国株式や先進国債券などが堅調となりました。株式市場は、FRB（米連邦準備制度理事会）の追加利上げ観測が後退し、上昇を続けていた米金利が低下したことなどを背景に上昇しました。債券市場では、米国の10月のCPI（消費者物価指数）上昇率や鉱工業生産が市場予想を下回ったほか、ドイツの9月の鉱工業生産が市場予想以上に悪化したなか、主要先進国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。コモディティでは、銀などの価格が上昇した一方、原油などの価格は下落しました。外国為替市場では、米ドルは対円で下落し、ユーロは対円で上昇しました。

12月の金融市場は、先進国株式や先進国債券などが堅調となりました。株式市場は、発表された米雇用統計が堅調だったことに加え、FOMCで3会合連続して政策金利の据え置きが決定したことや米金利の低下などをを受けて上昇しました。債券市場では、FOMCで2024年の予想利下げ幅が前回の見通しから拡大したことやユーロ圏の12月のPMI（購買担当者景気指数）速報値が製造業と非製造業のいずれも市場予想を下回り、景気の先行き懸念が強まったことなどを背景に主要先進国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。コモディティでは、金などの価格が上昇した一方、原油などの価格は下落しました。外国為替市場では、米ドル、ユーロともに対円で下落しました。

1月の金融市場は、先進国株式などが堅調となった一方、先進国債券などが軟調となりました。株式市場は、米ハイテク企業の決算発表を前に好業績期待が高まったことなどを背景に上昇しました。債券市場では、FRB高官の講演を受けて早期の利下げ観測が後退したほか、米国の1月のPMI速報値やドイツの1月のZEW（欧州経済研究センター）景況感指数が市場予想を上回ったことなどをを受けて主要先進国の国債利回りは上昇（価格は下落）しました。コモディティでは、原油などの価格が上昇した一方、銀などの価格は下落しました。外国為替市場では、米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。

2月1日から期末にかけての金融市場は、先進国株式などが堅調となった一方で、先進国債券などが軟調となりました。株式市場は、米ハイテク企業の良好な決算を背景に上昇しました。債券市場では、CPIが予想を上回る伸びをみせたことでインフレ再加速の懸念が広まり、主要先進国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。コモディティでは、原油価格が上昇しました。外国為替市場では、米ドルが対円で上昇しました。

## ■ ポートフォリオについて

### <積極（年2回決算）>

トータル・リターン積極マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざしました。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

### <安定（年2回決算）>

トータル・リターン安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざしました。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

### <安定（毎月決算）>

トータル・リターン安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざしました。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

### <トータル・リターン積極マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

当期は、先進国株式の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました。一方、為替ヘッジ・コストなどが基準価額の下落要因となりました。為替ヘッジ比率は期を通じて純資産総額に対して概ね7割程度でした。

### <トータル・リターン安定マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

当期は、先進国株式やグローバル社債の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました。一方、為替ヘッジ・コストなどが基準価額の下落要因となりました。為替ヘッジ比率は期を通じて純資産総額に対して概ね8割から9割程度でした。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、積極（年2回決算）および安定（年2回決算）は第18期の分配は行わないこととしました。また、安定（毎月決算）の第98期から第103期は各20円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

#### ○積極（年2回決算）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 18 期
	2023年8月22日～2024年2月19日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,424

#### ○安定（年2回決算）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 18 期
	2023年8月22日～2024年2月19日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,617

#### ○安定（毎月決算）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期	第 102 期	第 103 期
	2023年8月22日 ～2023年9月19日	2023年9月20日 ～2023年10月19日	2023年10月20日 ～2023年11月20日	2023年11月21日 ～2023年12月19日	2023年12月20日 ～2024年1月19日	2024年1月20日 ～2024年2月19日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.266	0.275	0.268	0.261	0.263	0.262
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	820	830	846	861	876	888

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

### <積極（年2回決算）>

トータル・リターン積極マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

### <安定（年2回決算）>

トータル・リターン安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

### <安定（毎月決算）>

トータル・リターン安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

### <トータル・リターン積極マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

### <トータル・リターン安定マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

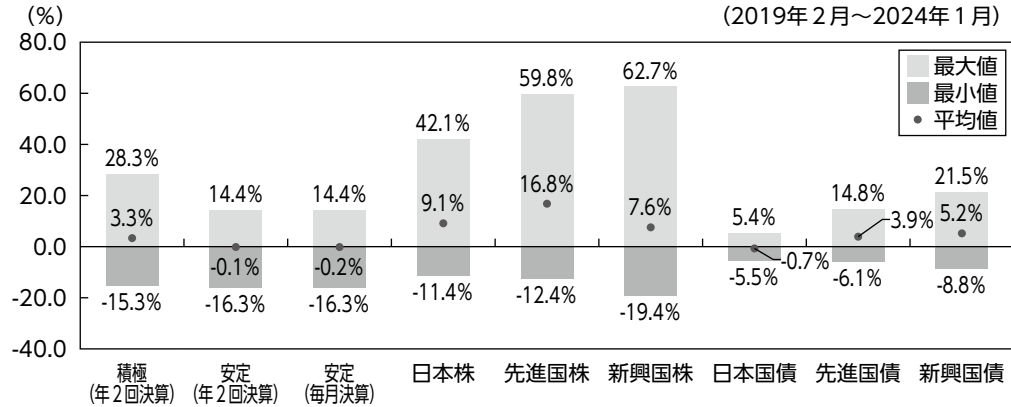
（上記見通しは2024年2月19日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	原則として無期限
運用方針	<p>グローバルの経済成長を収益の源泉とし、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンドを含むオルタナティブ資産等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行います。</p> <p>&lt;積極（年2回決算）&gt; 信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。</p> <p>&lt;安定（年2回決算）／安定（毎月決算）&gt; 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。</p>
主要投資対象	
本ファンド	<p>&lt;積極（年2回決算）&gt; トータル・リターン積極マザーファンドの受益証券</p> <p>&lt;安定（年2回決算）／安定（毎月決算）&gt; トータル・リターン安定マザーファンドの受益証券</p>
トータル・リターン積極マザーファンド／トータル・リターン安定マザーファンド	投資信託証券
運用方法・組入制限	<p>①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。</p> <p>②実質外貨建資産については、投資判断により対円での為替ヘッジを行うことがあります。</p> <p>③本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券および外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・株式（投資信託証券を除きます。）への直接投資は行いません。</li> </ul>
分配方針	<p>原則として毎計算期末（積極（年2回決算）／安定（年2回決算）は毎年2月19日および8月19日、安定（毎月決算）は毎月19日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利息・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。</p>

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年2月から2024年1月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。



## 本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2024年2月19日現在)

<積極 (年2回決算) >

○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	比率
トータル・リターン積極マザーファンド	100.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○ 資産別配分



マザーファンド受益証券  
100.8%

○ 国別配分



日本  
100.8%

○ 通貨別配分



日本円  
100.8%

(注1) 上記の比率は全て積極 (年2回決算) の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

## &lt;安定（年2回決算）&gt;

## ○組入上位ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

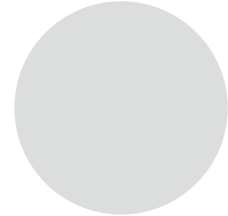
ファンド名	比率
トータル・リターン安定マザーファンド	100.8%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分

マザーファンド受益証券  
100.8%日本  
100.8%日本円  
100.8%

(注1) 上記の比率は全て安定（年2回決算）の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

## &lt;安定（毎月決算）&gt;

## ○組入上位ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	比率
トータル・リターン安定マザーファンド	100.4%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分

マザーファンド受益証券  
100.4%日本  
100.4%日本円  
100.4%

(注1) 上記の比率は全て安定（毎月決算）の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

## ■ 純資産等

### ○積極（年2回決算）

項目	第18期末
	2024年2月19日
純資産総額	2,053,725,937円
受益権総口数	1,585,545,659口
1万口当たり基準価額	12,953円

(注) 期首元本額は1,718,684,965円、当作成期間中において、追加設定元本額は13,923,428円、同解約元本額は147,062,734円です。

### ○安定（年2回決算）

項目	第18期末
	2024年2月19日
純資産総額	1,127,201,084円
受益権総口数	1,122,974,560口
1万口当たり基準価額	10,038円

(注) 期首元本額は1,206,127,938円、当作成期間中において、追加設定元本額は7,461,397円、同解約元本額は90,614,775円です。

### ○安定（毎月決算）

項目	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末
	2023年9月19日	2023年10月19日	2023年11月20日	2023年12月19日	2024年1月19日	2024年2月19日
純資産総額	1,040,142,987円	960,349,954円	972,638,637円	973,294,599円	946,335,780円	938,359,974円
受益権総口数	1,387,685,258口	1,326,496,448口	1,306,742,492口	1,273,538,069口	1,246,974,764口	1,231,809,905口
1万口当たり基準価額	7,496円	7,240円	7,443円	7,642円	7,589円	7,618円

(注) 当作成期首元本額は1,388,886,833円、当作成期間（第98期～第103期）中において、追加設定元本額は11,371,762円、同解約元本額は168,448,690円です。

## ■ 組入上位ファンドの概要

### トータル・リターン積極マザーファンド（2023年8月21日現在）

○ 基準価額の推移について（2022年8月20日～2023年8月21日）



(注) 基準価額の推移についてはトータル・リターン積極マザーファンドの直近の計算期間のものです。

○ 1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 (投資信託証券) (プライムブローカー)	1円 (0) (1)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合計	3

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については4ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

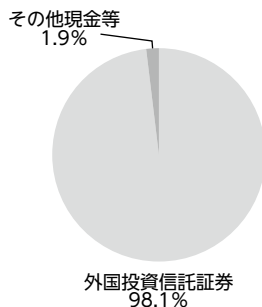
○ 組入上位ファンド

(組入銘柄数：23銘柄)

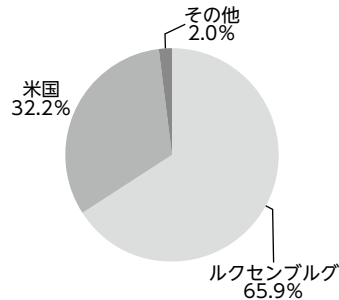
	ファンド名	比率
1	ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	12.9%
2	バンガード®・S & P 500 ETF	12.4%
3	ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ	10.4%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

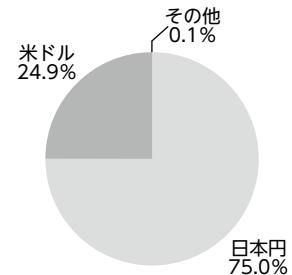
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) データはトータル・リターン積極マザーファンドの直近の決算日時点のものです。

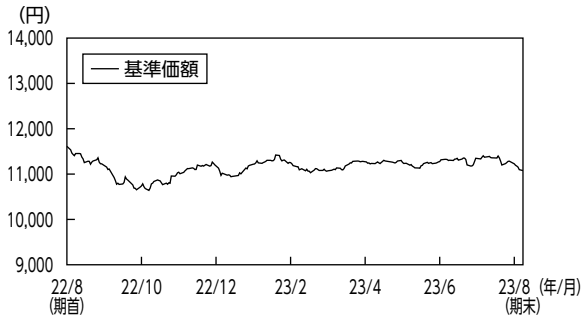
(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 上記の比率は全てトータル・リターン積極マザーファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

\* 組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## トータル・リターン安定マザーファンド (2023年8月21日現在)

○基準価額の推移について (2022年8月20日~2023年8月21日)



(注) 基準価額の推移についてはトータル・リターン安定マザーファンドの直近の計算期間のものであります。

○1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 (投資信託証券) (プライムブローカー)	1円 (0) (1)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	2

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については5ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

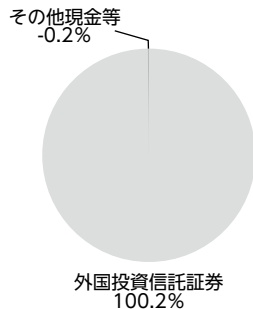
○組入上位ファンド

(組入銘柄数: 23銘柄)

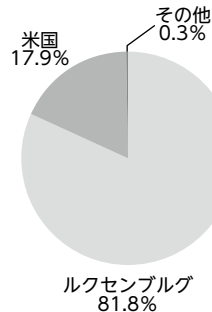
	ファンド名	比率
1	ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ	28.6%
2	ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ	24.9%
3	ゴールドマン・サックス・グローバル・アブソリュート・リターン・ポートフォリオ	9.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

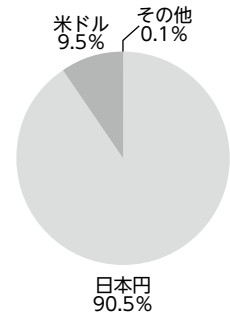
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) データはトータル・リターン安定マザーファンドの直近の決算日時点のものであります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 上記の比率は全てトータル・リターン安定マザーファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

\*組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ご参考>トータル・リターン積極マザーファンドおよび安定マザーファンドの組入上位ファンドの概要  
 <ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ> (2022年11月30日現在)

\* 2023年8月21日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2021年12月1日~2022年11月30日)



\* I Oアキュムレーション・スナップ・シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2022年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	32,995
当座借越支払利息	56,321
有価証券貸付にかかる手数料	14,656,823
投資顧問報酬	492,597
保管費用	515,125
管理事務代行報酬	1,130,873
販売報酬およびサービシング報酬	162,584
名義書換事務代行報酬	591,826
年次税	8,935
監査報酬	533,657
管理会社報酬	26,037
取締役報酬	70,690
弁護士報酬	30,136
保険費用	63,238
印刷費用	8,390
出版費用	33,234
税務報告報酬	21,108
支払代理人報酬	66,675
規制報告報酬	180,614
その他費用	18,681,858
投資顧問報酬調整額	(97)
費用合計	18,681,761

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

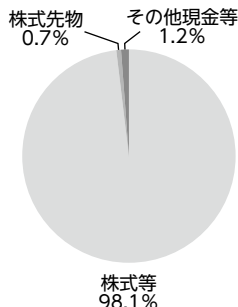
順位	銘柄	国	比率
1	アップル	米国	3.4%
2	マイクロソフト	米国	2.3%
3	アマゾン・ドット・コム	米国	1.7%
4	アルファベット クラスC	米国	1.4%
5	ブロードコム	米国	1.3%
6	エレバンスヘルス	米国	1.2%

(組入銘柄数: 368銘柄)

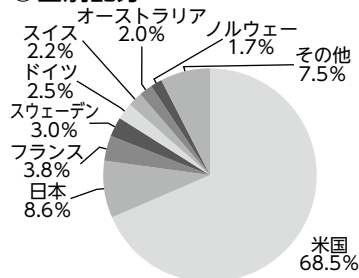
順位	銘柄	国	比率
7	ロシュ・ホールディング	米国	1.2%
8	オートゾーン	米国	1.2%
9	パークシャー・ハサウェイ	米国	1.1%
10	アドビ	米国	1.1%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

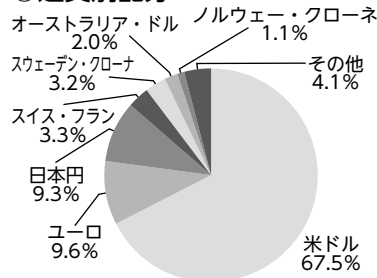
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

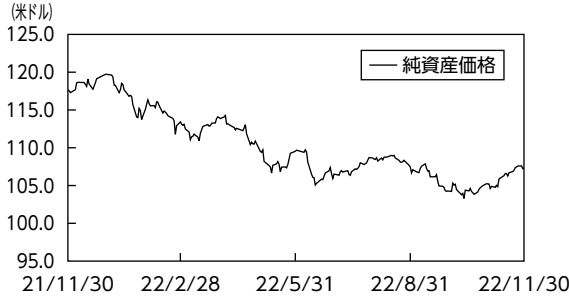
(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) をご覧ください。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・アブソリュート・リターン・ポートフォリオ> (2022年11月30日現在)

\* 2023年8月21日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2021年12月1日~2022年11月30日)



\* I Oアキュムレーション・シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2022年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	11,347
当座借越支払利息	5,477
スワップ契約配当調整金	594,755
投資顧問報酬	225,796
保管費用	112,251
管理事務代行報酬	391
販売報酬およびサービシング報酬	37,962
名義書換事務代行報酬	31,517
年次税	16,877
監査報酬	31,675
管理会社報酬	1,841
取締役報酬	10,508
弁護士報酬	1,781
保険費用	10,782
印刷費用	3,609
出版費用	27,064
税務報告報酬	16,673
支払代理人報酬	44,848
規制報告報酬	77,228
その他費用	1,262,382
投資顧問報酬調整額	(19,386)
費用合計	1,242,996

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示していません。

○組入上位10銘柄

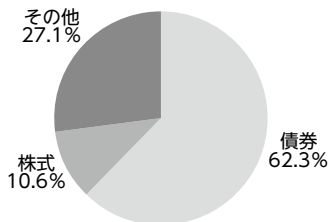
順位	銘柄	資産	国	比率
1	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.835% 2023/1/27	債券	米国	5.1%
2	Goldman Sachs Funds - Global Strategic Macro Bond Portfolio	その他	ルクセンブルク	5.0%
3	United States Treasury Floating Rate Note 4.367% 2023/10/31	債券	米国	4.4%
4	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.804% 2023/8/5	債券	米国	3.9%
5	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.339% 2023/6/1	債券	米国	3.4%

(組入銘柄数: 651銘柄)

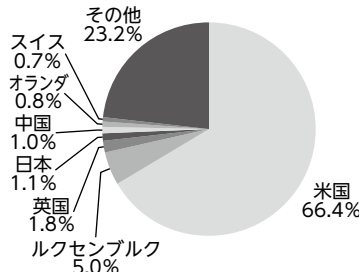
順位	銘柄	資産	国	比率
6	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.831% 2019/1/2	債券	米国	3.4%
7	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.461% 2023/1/3	債券	米国	3.4%
8	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.821% 2023/2/15	債券	米国	2.8%
9	Federal Home Loan Banks 3.830% 2023/6/1	債券	米国	2.1%
10	Federal Home Loan Banks 3.820% 2022/12/22	債券	米国	1.9%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

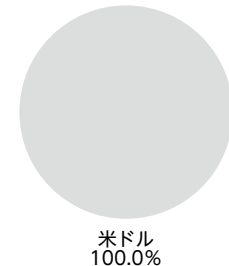
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

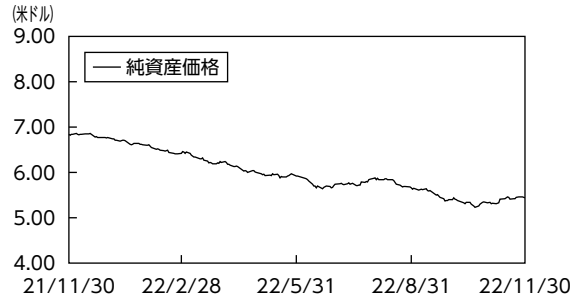
(注4) 通貨別配分は組入れファンドのアニユアルレポートにおいて開示されていないため、投資しているI Oアキュムレーション・シェアクラスの表示通貨を記載しています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) をご覧ください。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ (為替ヘッジあり)> (2022年11月30日現在)

\* 2023年8月21日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2021年12月1日~2022年11月30日)



\* I X O シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2022年11月30日に終了した期間) (単位: ユーロ)

費用	94,050
当座借越支払利息	
投資顧問報酬	2,319,607
保管費用	395,037
管理事務代行報酬	223,125
販売報酬およびサービシング報酬	12,473
名義書換事務代行報酬	70,638
年次税	156,512
監査報酬	20,543
管理会社報酬	140,876
取締役報酬	8,021
弁護士報酬	18,068
保険費用	14,746
印刷費用	24,047
出版費用	4,740
税務報告報酬	31,795
支払代理人報酬	16,336
規制報告報酬	48,002
その他費用	60,750
	<hr/>
投資顧問報酬調整額	3,659,366
費用合計	(29) <hr/> <u>3,659,337</u>

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

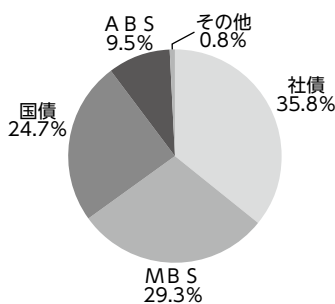
銘柄	種別	通貨	比率
1 JAPANESE GOVT 2Y #442 0.005% 01 NOV 2024	国債	J P Y	5.9%
2 JAPANESE GOVT 2Y #440 0.005% 01 SEP 2024	国債	J P Y	4.3%
3 JAPANESE GOVT T-Bill #1117 06 FEB 2023	国債	J P Y	4.0%
4 FNCL 3.50 12/23 TBA	MB S	U S D	3.7%
5 FNCL 5.50 12/22 TBA	MB S	U S D	3.0%
6 FNCL 6.00 12/22 TBA	MB S	U S D	2.6%
7 G25F MA8347	MB S	U S D	2.5%

(組入銘柄数: 579銘柄)

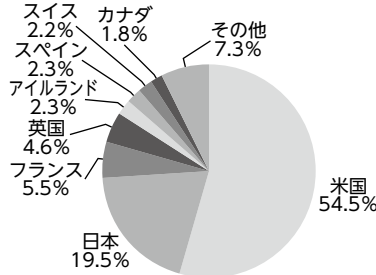
銘柄	種別	通貨	比率
8 MARBLE POINT CLO XX A 2021-2A FRN 25 JUL 2034 144A	A B S	U S D	2.4%
9 ICG US CLO 2017-1 ARR 2021-1A FRN 28 JUL 2034 144A	A B S	U S D	1.9%
10 FNCL 2.00 12/23 TBA	MB S	U S D	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

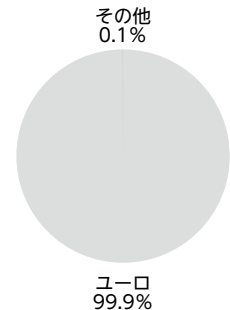
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

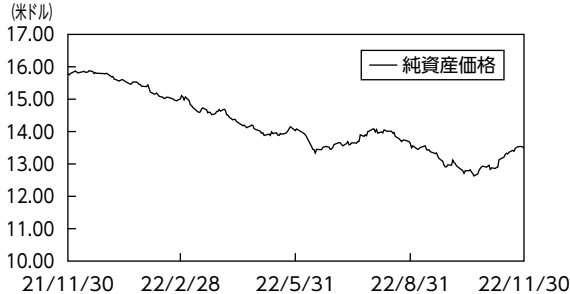
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。



<ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ (為替ヘッジあり) > (2022年11月30日現在)

\* 2023年8月21日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2021年12月1日~2022年11月30日)



\* I Oアキュムレーション・シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (2022年11月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	1,520
スワップ契約を除く支払利息	171
スワップ契約にかかる支払利息	12,987
投資顧問報酬	3,274,594
保管費用	359,696
管理事務代行報酬	283,455
販売報酬およびサービシング報酬	60,924
名義書換事務代行報酬	85,373
年次税	208,277
監査報酬	23,014
管理会社報酬	180,783
取締役報酬	10,179
弁護士報酬	17,991
保険費用	18,086
印刷費用	30,574
出版費用	6,344
税務報告報酬	30,278
支払代理人報酬	18,261
規制報告報酬	50,819
その他費用	76,154
	<u>4,749,480</u>
投資顧問報酬調整額	(1)
費用合計	<u>4,749,479</u>

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

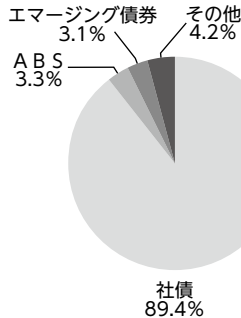
順位	銘柄	種別	通貨	比率
1	JPMORGAN CHASE & CO. 4.323% 26 APR 2028-27	社債	USD	1.3%
2	WARNERMEDIA HOLDINGS. 1.4279% 15 MAR 2032-31 144A	社債	USD	1.0%
3	MORGAN STANLEY 4.21% 20 APR 2028-27	社債	USD	0.9%
4	HCA INC. 3.5% 01 SEP 2030-30	社債	USD	0.9%
5	DEUTSCHE BANK AG-NEW YORK BR 2.129% 24 NOV 2026-25	社債	USD	0.9%
6	DELL INTERNATIONAL L.L.C. 6.02% 15 JUN 2026-26	社債	USD	0.8%
7	CITIGROUP INC. 4.412% 31 MAR 2031-30	社債	USD	0.8%

(組入銘柄数: 448銘柄)

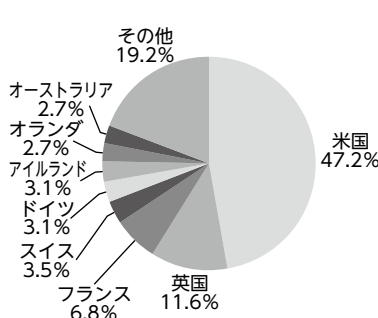
順位	銘柄	種別	通貨	比率
8	T-MOBILE USA, INC. 3.75% 15 APR 2027-27	社債	USD	0.8%
9	MADISON PARK FUNDI A 2018-30A FRN 15 APR 2029 144A	A B S	USD	0.8%
10	T-MOBILE USA, INC. 3.875% 15 APR 2030-30	社債	USD	0.8%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

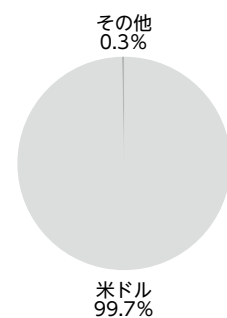
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

## &lt;バンガード®・S &amp; P 500 ETF&gt; (2022年12月31日現在)

\* 2023年8月21日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

## ○純資産価格の推移について (2022年1月1日~2022年12月31日)



## ○費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

投資顧問報酬	10,553
管理事務代行報酬 - Investor Shares	4,742
管理事務代行報酬 - ETF Shares	59,393
管理事務代行報酬 - Admiral Shares	134,905
管理事務代行報酬 - Institutional Select Shares	9,013
マーケティングおよび販売報酬 - Investor Shares	164
マーケティングおよび販売報酬 - ETF Shares	11,793
マーケティングおよび販売報酬 - Admiral Shares	13,152
マーケティングおよび販売報酬 - Institutional Select Shares	12
保管費用	2,959
監査報酬	42
運用報告書費用 - Investor Shares	7
運用報告書費用 - ETF Shares	3,546
運用報告書費用 - Admiral Shares	1,921
受託者の報酬及び費用	287
その他費用	26
費用合計	252,515
間接的に支払われた費用	(14)
費用純額	252,501

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

## ○組入上位10銘柄

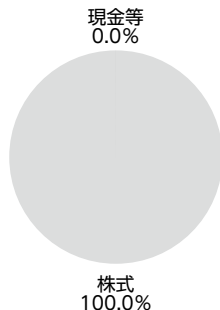
	銘柄	国	比率
1	アップル	米国	6.1%
2	マイクロソフト	米国	5.6%
3	アマゾン・ドット・コム	米国	2.3%
4	パークシャー・ハサウェイ	米国	1.7%
5	アルファベット	米国	1.6%
6	ユナイテッドヘルス・グループ	米国	1.5%

(組入銘柄数: 504銘柄)

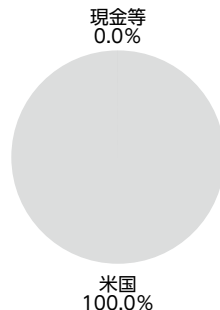
	銘柄	国	比率
7	アルファベット	米国	1.5%
8	ジョンソン・エンド・ジョンソン	米国	1.4%
9	エクスコンモービル	米国	1.4%
10	J P モルガン・チェース・アンド・カンパニー	米国	1.2%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

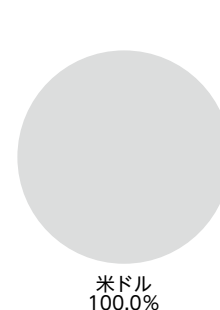
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。